



学校だより



2026年 4月 7日
横浜市立港南台第一小学校
4月号



保護者、地域、学校は同じチームメイト

校長 本多 響

はじめまして。今年度、緑区森の台小学校から異動し、港南台第一小学校校長に着任いたしました、本多響と申します。子どもたちにとって、安心、安全で楽しい学校にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

私は子どものころ、この港南台に住んでいたこともあり、懐かしい雰囲気を楽しみながらこの学校にやってきました。ここに着任したことには何か意味があるのかなと、そんな思いをはせながら、自分を育ててくれた地域に恩返しをするつもりで頑張ります。

さて、今年度、私は港南台第一小学校に着任するにあたって、この港南台の街を改めて歩いてみました。当時生活していた時は気づかなかったのですが、駅に向かってたくさんの方が歩いていることに気づきます。駅の近くではたくさんの方が買い物をしたり、食事をしたり。港南台にはこれだけの人がいて、改めて住みやすい街なのだと気づきます。そう考えると、学校はたくさんの人たちが出入りします。港南台第一小学校にもたくさんの方がかかわっています。つまり学校は保護者、地域、教職員に支えられて成り立っていることに気づくのです。最近「チーム〇〇」という言葉をよく目にします。スポーツで言う「チーム」とは勝利という同じ目的のために、力を合わせる仲間のことです。私は小学校から大学まで野球をやっていたので、野球に例えて考えてみました。ピッチャーはなんとか点を取られないようにバッターが打ちにくい球を工夫して投げます。キャッチャーは点を取られないように、様々な情報を整理しながらピッチャーを助けます。守っている人たちは、打球を何とか食い止めようと守備の位置などを工夫しています。そしてピッチャーが楽になるように、バッターはあらゆる工夫をして点数を取りにいきます。それぞれ役割は違うけれど、チームの勝利という同じ目的のために自分の役割を全力で果たそうとします。学校も同じなのではないかと考えました。学校には勝利という目的はないけれど、子どもを育てるという大きな目的があります。そして、保護者、地域、教職員はそれぞれ役割が違うのかもしれませんが、子供を育てると同じ目的に向かって力を合わせる仲間なのだと思います。ピッチャー、キャッチャー、バッター、守っている人たちすべての人たちが必要です。誰が欠けても勝利にはつながりません。私は今までの港南台第一小学校がそうであったように、保護者、地域、教職員をチームメイトとして、どの役割も欠けることなく、同じ目的に向かって頑張りたいなと思いました。

今年度、2026年の港南台第一という新しいチームがスタートします。保護者、地域、教職員がそれぞれの役割を果たす中で、それぞれの課題に当たってしまうこともあると思います。そんな時は一緒に悩んで、そして一緒に解決していきたいと思っております。ぜひ良いことも悪いことも遠慮なくお話して、一緒に悩ませていただけたらと思います。一年間、よろしくお願いいたします。